

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●有馬記念公開枠順抽選の実施

12月21日(木)の17時より、品川プリンスホテル(東京都港区)を会場として『有馬記念フェスティバル』が開催されることとなりました。出走馬関係者が一堂に会するとともに、ゲストとして2023年JRA年間プロモーションキャラクターである佐々木蔵之介さん、見上愛さんが参加し、有馬記念(G I)の公開枠順(馬番号)抽選および予想検討会が実施されます(BSフジにて生中継を予定)。なお本フェスティバルには観覧希望者250名が抽選で招待されます。応募方法等はサイトにてご確認ください。

【<https://www.2023arimafes.jp>】→



●重賞ウイナー5頭の競走馬登録抹消

2021年サンケイスポーツ賞フローラS(G II)の勝ち馬クールキャット(牝5歳/美浦・奥村武厩舎/JRA通算12戦2勝・地方1戦0勝)、2020年日本テレビ盃(船橋・Jpn II)の勝ち馬ロードプレス(牡7歳/栗東・奥村豊厩舎/JRA通算20戦5勝・地方5戦1勝)、2020年ニュージーランドT(G II)の勝ち馬ルフトシュトローム(騾6歳/美浦・堀宣行厩舎/JRA通算14戦3勝)、2021年KBS京都賞ファンタジーS(G III)の勝ち馬ウォーターナビレラ(牝4歳/栗東・武幸四郎厩舎/JRA通算14戦3勝)、2021年小倉記念(G III)の勝ち馬モズナガレボシ(牡6歳/栗東・荒川義之厩舎/JRA通算34戦4勝)は、10月5日(木)までに競走馬登録を抹消されました。クールキャットとウォーターナビレラは繁殖馬、ルフトシュトロームは乗馬となる予定ですが繋養先は未定。ロードプレスは地方・高知競馬、モズナガレボシは地方・名古屋競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JBCはキングズソード、アイコンテラーらが優勝

JBCクラシック(Jpn I、11月3日、大井、2000^米)は、3番手前後を進んだ4番人気のキングズソード(ジョアン・モレイラ騎手=ブラジル、牡4歳、父シニスターミニスター)が直線に入って間もなく抜け出し、4馬身差で楽勝。逃げたノットウルノが2番人気のテオーケインズを抑えて2着に入り、1番人気のメイショウハリオは4着、3番人気のウィルソンテソーロは5着、クリノドラゴンが6着、ケイアイバーブルは9着に敗れました。

JBCスプリント(Jpn I、11月3日、大井、1200^米)は、好位から早目に2番手に進出した3番人気の兵庫所属馬イグナイター(笹川翼騎手=大井、牡5歳、父エスポワールシチー)が直線半ばで先頭に立つと、単勝1.2倍で圧倒的人気のリメイクに1馬身半差を付けてこのレース父子制覇を達成。2番人気のリュウノユキナが3着、ラプタスは5着、バスラットレオンは7着、ケイアイドリーは9着、モズメイメイは11着、昨年の覇者ダンシングプリンスはスタート直後に躓いて落馬、競走を中止しています。

JBCレディスクラシック(Jpn I、11月3日、大井、1800^米)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った1番人気のアイコンテラー(松山弘平騎手、牝5歳、父ドゥラメンテ)が、2番人気のグランブリッジを4馬身引き離して圧勝。3番人気のアートルアストリアが3着、テリオスベルは5着、ライオットガールは6着、レディバグは7着、逃げたヴァレーデラルナは11着でした。

JBC2歳優駿(Jpn III、11月3日、門別、1800^米)は、後ろから2頭目という位置から追いつけたフォーエバーヤング(坂井瑠星騎手、牡、父リアルスティール)が、先に抜け出した2番人気のサンライズジパングを残り100^米で差し切り、1番人気に応じて新馬戦から連勝。エストレヤデベレンは5着、逃げたフォーディアライブは8着、モアリジットは11着に沈んでいます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ブリーダーズカップ〜クラシックはホワイトアバリオが優勝

現地11月3日、4日に米国カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたブリーダーズカップ(以下BC)のメインレースであるG1 BCクラシック(4日、3歳上、ダート2000^米)はI. オルティスJr. 騎手が手綱をとったホワイトアバリオ(牡4歳、父レースデイ、R. ダトローJr. 厩舎)が3番手追走から直線で抜け出して優勝しました。1馬身差の2着に日本から遠征したデルマソトガケ。もう一頭の日本調教馬ウシュパテソーロは5着に終わりました。ホワイトアバリオは前走8月のG1 ホイットニーS(ダート1800^米)に続くG1連勝で、G1は3歳時のフロリダダービー(ダート1800^米)と合わせて3勝目です。

●ゴールデンイーグル〜オオバンブルマイが制す

オーストラリアでは2番目の高額となる総賞金1000万豪^{ドル}(約9億5000万円/1豪^{ドル}95.0円で換算。以下同じ)を誇るゴールデンイーグル(4歳=北半球産馬は3歳、芝1500^米)が11月4日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のローズヒルガーデンズ競馬場で行われ、日本から参戦したオオバンブルマイ(牡3歳、父ディスクリートキャット、栗東・吉村圭司厩舎)がJ. パー騎手を背に差し切り勝ち。1着賞金525万豪^{ドル}(約4億9875万円)を手に入れました。